

挨拶・趣旨説明

アジア産業研究センター代表／専修大学商学部教授

小林 守

本日は「アジア消費市場のフロンティア」という題で、海外から実務・学術面の両方の専門家の先生方を招き、開催することとなった。これは本年度から5年間続く文部科学省選定の研究プロジェクトの一企画である。私ども専修大学のマーケティング分野を専門とする教員、および海外のマーケティングと生産、物流を含めた経営分野を専攻する専門家総勢約20名でプロジェクトチームを組み、本年度より5年間にわたり研究し、その結果を広く社会へ報告するプロジェクトとなっている。今年は1年目ということもあり、本シンポジウムの告知期間も短く、皆さまには大変ご迷惑をおかけしたと思っている。

これから毎年2回ほどこのような国際シンポジウムを開催していく予定であるので、よろしく願いしたい。

私どもの研究の特徴を1点述べさせていただく。過去2年間、専修大学社会知性開発研究センター／国際経営研究センターにおいて川崎商工会議所様と共同でメコン地域の企業調査を行ってきた。それにつづき、今回、この文部科学省選定の研究プロジェクトでは「面」の調査を行っていくつもりだ。いままでのように主要都市に飛行機で行って調査をする「点」の調査から、例えば実際に店で面談したり、道路を走ってみたりといった「面」の調査にしていこうという主旨である。実際、先頃ベトナム中部のダナンから、ラオスのサバナケット、そこで日本政府が開発に協力している道路をバスで約500kmにわたり、走ってきた。このように実際に目で見て、肌で感じた、地に足の着いた情報を研究成果としてまとめていきたいと考えている。

本日は、メコン地域にビジネス上でも大変な影響力を持つ中国の先生方をお呼びしているが、将来は、メコンで存在力を発揮する韓国、ロシア、オーストラリアの専門家の方、そういった方たちもお呼びして、一緒に研究成果を深めていきたいと思っている。

本日は、ご案内のとおり、前半の中国の専門家の方々は学術的にも大変に有名で、そして実務界でも非常に注目を集めておられる。また、後半のベトナム、カンボジアの専門家の先生は日本に長くおられ、日本のビジネスの視点を理解されている。現在はそれぞれの国でマーケティング分野、経営分野を研究されている。皆様方からの質問の時間も取るようにしたいと考えているので、忌憚のないディスカッションをしていただきたい。



アジア産業研究センター代表 小林 守



ダナン経済大学 チン・トゥイ・ファン専任講師



首都経済貿易大学 陳 立平主任教授



名古屋大学 ンガウ・ペンホイ
カンボジアサテライトキャンパス長 特任准教授



貝因美 虞 江新副総裁